

鶴見岳・伽藍岳の火山活動解説資料（平成 26 年 12 月）

福岡管区気象台
火山監視・情報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。
平成 19 年 12 月 1 日に噴火予報（平常）を発表しました。その後、予報事項に変更はありません。

○ 12 月の活動概況

・噴気など表面現象の状況（図 1）

鶴見岳監視カメラ（大分県）による観測では、噴気は認められませんでした。

・地震や微動の発生状況（図 2）

火山性地震および火山性微動は観測されませんでした（11 月：なし）。

・地殻変動の状況（図 3、図 4）

GNSS¹⁾ 連続観測では、火山活動によると考えられる変化は認められませんでした。

1) GNSS (Global Navigation Satellite Systems) とは、GPS をはじめとする衛星測位システム全般を示す呼称です。



図 1 鶴見岳・伽藍岳 噴煙の状況
(12 月 31 日、鶴見岳監視カメラ（大分県）による)

この火山活動解説資料は福岡管区気象台ホームページ (<http://www.jma-net.go.jp/fukuoka/>) や気象庁ホームページ (<http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/volcano.html>) でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（平成 27 年 1 月分）は平成 27 年 2 月 9 日に発表する予定です。

この資料は気象庁のほか、国土地理院、独立行政法人防災科学技術研究所、大分県のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 50mメッシュ（標高）』を使用しています（承認番号：平 26 情使、第 578 号）。

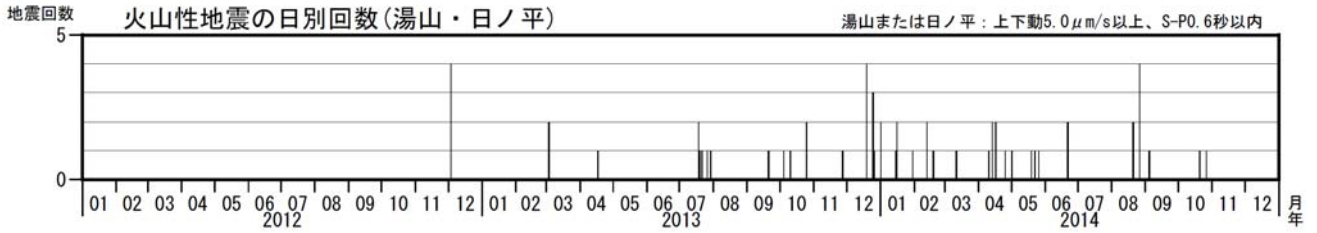


図 2 鶴見岳・伽藍岳 火山性地震の日別回数（2012 年 1 月～2014 年 12 月）

<12 月の状況>

火山性地震は観測されませんでした（11 月：なし）。

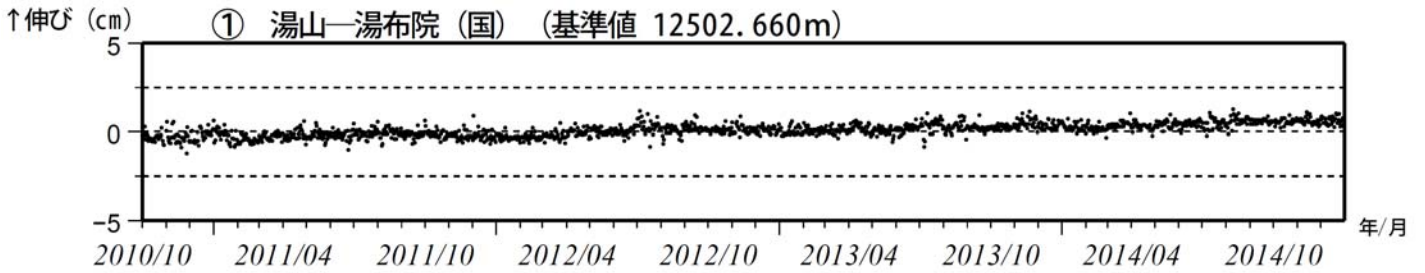


図 3 鶴見岳・伽藍岳 GNSS連続観測による基線長変化（2010 年 10 月～2014 年 12 月）

GNSS連続観測では、火山活動によると考えられる変化は認められませんでした。

この基線は図 4 の①に対応しています。

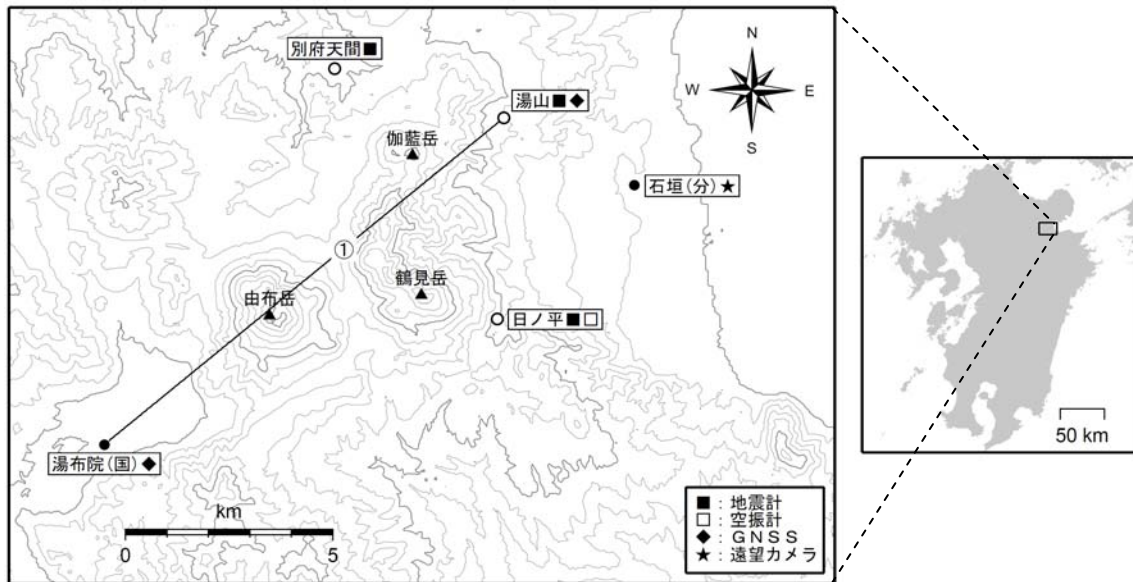


図 4 鶴見岳・伽藍岳 観測点配置図

小さな白丸 (○) は気象庁、小さな黒丸 (●) は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。

(国)：国土地理院、(分)：大分県

遠望観測点「石垣 (分)」は鶴見岳監視カメラ (大分県) を示しています。